

佳作
(高校部門)

福岡県立小倉南高等学校 2年
岩谷 いわや 舞音 まいん

かわいくない

おばあちゃん

私は高校一年生になってから美容に興味を持ち始めた。周りの女子の影響もあってか少しずつ化粧もするようになっていった。奥二重の私にとってにはぱっちり二重がうらやましく、アイプチにも挑戦し始めた。少しはかわいくなれるのかなと期待した。しかし、アイプチをしようとしている私を見て、祖母がこう言った。「かわいくない。」私は悲しくて泣いてしまった。「何もしない方がいい。そのままが一番かわいいし、一番まいんちゃんらしい。」私は涙が止まった。嫌みではなく、祖母からの愛情なんだと感じた。私はアイプチを止めた。美容もほどほどに。

でも私より数百倍も化粧も濃ゆくて、美容にもうるさい祖母に言われたことに正直びつくりした。